事業所名		アップ↑るTREE			支援プログラム			作成日	2024 年	12 月	1日
	法人(事業所)理念	利用者様の意思及び人格を尊重し、利用者様の立場に立った適切な支援を提供します。 利用者様一人ひとりのニーズに合わせて、生活能力向上のために必要な訓練を行い、且つ集団生活に適応できるよう支援を行います。									
支援方針		日常生活における基本的動作及び知識技能を習得し、集団生活に適応することができるようになることを目的とし、ご本人の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて、 適切かつ効果的な指導訓練を行う。									
営業時間			9 時	0 分から	1 <mark>7</mark> 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり(要相談)		
		支 援 内 容									
	健康・生活	体調確認チェックシートを用いて、日々の健康管理に努めています。食事・着替え・排泄など基本的生活習慣を身につけるために、和やかな雰囲気の中で食事(お弁当)をしながら フォークやお箸等道具の扱い方を身につけたり、衣類の着脱の練習をしたり、トイレトレーニングに取り組んだりしています。									
	運動・感覚	粗大運動として、リズム体操、追いかけっこ等の外遊び、ボール投げ等に取り組んでいます。 微細運動として、ブロックや紐通しなどのおもちゃ遊びや、文字の練習やプリント課題を通してクレヨン、鉛筆、のり、ハサミ等の扱いを練習したりしています。 上記の運動を通して、姿勢の保持ができるように体幹を鍛えたり、目と手の協応力や手指の巧緻性を高め、動作の協調性を身につけています。									
	認知・行動	K式発達検査等の検査結果や日々のかかわりをもとに発達段階に合わせたプリント課題を設定し、知識の習得を目指しています。また、個々の認知特性(視覚優位・聴覚優位・言語優位) に合わせたかかわりによって、状況を理解して行動に移すことができるよう支援しています。									
	言語 コミュニケーション	生き物、乗り物、食べ物、生活用品、身体部位などの絵カードを用いて名称の習得を目指しています。さらに、名称と文字が一致していくように、発達段階に合わせて文字のなぞり書き などに取り組みながらひらがな・カタカナを習得していきます。 また、友だちとのかかわり遊びの中で職員が仲介しながら、自分の気持ちをジェスチャーや言葉で伝える練習をしています。									
	人間関係 社会性	職員との一対一のかかわりを通して信頼関係を築き、安心安全な空間で過ごすことができるよう努めます。遊びの発達段階(一人遊び、連合遊び、協同遊びなど)に合わせて、職員が仲 介しながら他者への興味関心を育てたり、おもちゃの貸し借りの練習をしたり、役割やルールのある遊び(かくれんぼ、トランプなど)への参加を促していきます。 また、活動への参加を通して『自分でできる』という自信をつけたり、不満耐性を身につけていけるよう支援しています。									
	家族支援			D様子や課題をまと 子育て等に関する村			移行支援	保育所等訪問支援を併園行事に合わせて利用			
地域支援・地域連携		けるように連携	携しています。 ま	関係機関にお伝え また、療育センタ- 」ながら連携してい	-、相談支援事業		職員の質の向上	県の児童虐待対応研修 防止の知識を積み重ね や技術を取り入れてい	たり、療育に関係 ⁻		
主な行事等		・お正月遊び・節分・ひな祭り・お花見散歩・端午の節句・食育:手洗い、食中毒の勉強・七夕・プール遊び・親子遠足・ハロウィン・交通安全・どんぐり拾い・クリスマス									